| 学校番号 | １１０１ |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学科 | 科目 | 数学Ｃ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版　最新　数学Ｃ（数件出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 改訂版　Study-Up ノート数学Ｃ（数件出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，課題に対して，自ら考え，周りの人と協働で考える活動を行います。
ノートをしっかり書くことも大切ですが，問題を解決するにあたって、
①問題の意味を理解する。
②解決の方法を予想したり，類題があったか思い出したりしてみる。
③問題を解決する。
④解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える。
ということを意識して活動し，自分の考えを発表したり，友達を一緒に考えたりします。
・ノート，教科書，問題集を用意してください。
・課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトルの性質，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
ベクトルや図形の構成要素間の関係などに着目し，ベクトルや図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルの性質，図形の性質について数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | ベクトル | 平面上のベクトル<br>1　ベクトル<br>2　ベクトルの和<br>3　ベクトルの差<br>4　ベクトルの実数倍<br>5　ベクトルの成分<br>6　ベクトルの成分と演算<br>7　ベクトルの内積<br>8　内積の性質 | a: 平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解することができる。<br>ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解することができる。<br>b: 実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。<br>c: 実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察しようとする。 | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ﾉｰﾄ | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ﾉｰﾄ | 観察<br>振り返りｼｰﾄ |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ベクトルと平面図形<br>9　位置ベクトル<br>10　ベクトルと図形<br>11　ベクトル方程式 | a: a: 座標及びベクトルの考えが平面に拡張できることを理解することができる。<br>b: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすること。<br>c: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形の性質を見いだしたり，多面的に考察しようとする。 | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ﾉｰﾄ | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ノート<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 観察<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>振り返りシート |
| | 空間のベクトル | 空間のベクトル<br>12　空間の座標<br>13　空間のベクトル<br>14　ベクトルの成分と演算<br>15　ベクトルの内積<br>16　位置ベクトル<br>17　空間図形への応用 | a: 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解することができる。<br>b: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察することができる。<br>c: 数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用しようとする。 | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ﾉｰﾄ | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ノート<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 観察<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>振り返りシート |
| 後期 | 複素数平面 | 複素数平面<br>1　複素数平面<br>2　複素数の和と差<br>3　複素数の極形式<br>4　ド・モアブルの定理<br>5　複素数と平面図形 | a:複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解することができる。<br>ド・モアブルの定理について理解することができる。<br>b: 複素数平面における図形の移動などと関連付けて，複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。<br>c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとする。 | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ﾉｰﾄ | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br>提出ノート<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 観察<br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 式と曲線 | 2 字曲線<br>1　放物線<br>2　楕円<br>3　双曲線<br>4　2 次曲線の平行移動<br>5　2 次曲線と直線 | a: 放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解することができる。<br>b: 放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。<br>c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとする。 | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br><br>提出ﾉｰﾄ | 定期考査<br>確認ﾃｽﾄ<br><br>提出ﾉｰﾄ | 観察<br><br><br>ﾚﾎﾟｰﾄ<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度